

# ノバ・スコシア州

## 力ナダ一の 水産物輸出

首相	ジョン・ブキヤナン（進歩保守党）
首都	ハリファックス
面積	五五五〇〇平方キロ
人口	八六八、一〇〇人（八四年）
州民所得	九十二億ドル（八四年推定）

・ブレトンなどに移住した人々。ノバ・

スコシア（ラテン語で“ニュースコツ

トランド”的こと）は、そもそも一六二

年、あるスコットランド人の提案で名

付けられ、ウイリアム・アレクサンダー

卿に下賜されたものであるが、スコット

ランドから多数の移住者が到來したこと

により、スコットランド的な色彩が現在

でも濃く残っている。ゲーリック語やキ

ルト、バグパイプといったスコットラン

ド的な伝統に対する郷愁はきわめて強く、

夏ともなればスコットランド高地のフォ

ークダンス大会や集会、コンサートで賑

わう。

ノバ・スコシアは、かつて、船舶輸送の

要地として栄え、州都ハリファックスは、

十九世紀の中頃に蒸気船が現われるまで、

世界的な造船所として名を馳せ、米国独

立戦争のときはイギリス軍の主要軍需供

給地、また第二次大戦中は連合軍輸送船

団の基地として活躍した。また、キルト

の生産地としても世界中に知られていた。

いずれも、今では重要性はかなり失わ

れたものの、ハリファックスは現在も北

米でも最大級の不凍・深水港であること

はスコットランドとの縁をもつていて、

大西洋四州の中では人口が最も多く（約

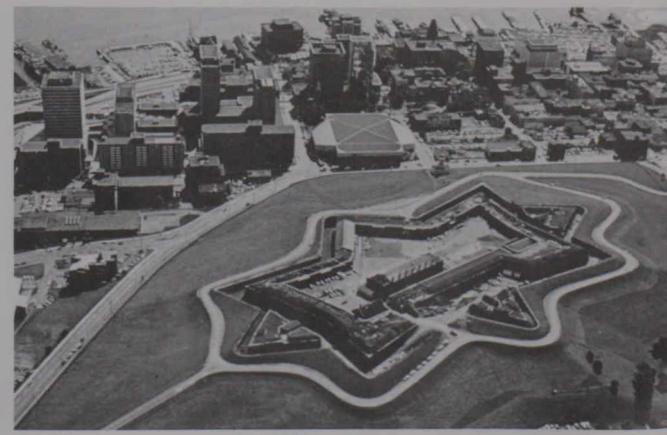
九十五万人）、経済的に最も豊かである

今日のノバ・スコシアの基礎をつくったのは、米国の独立戦争のとき何万とやつてきた親英派の人々（“国王派”）と、一八〇〇年にスコットランドからケープ



（ただし、他の三州と同じく、連邦政府の平衡交付金への依存率はかなり高い）。その主な理由は、漁業や林業などの伝統的な産業が好成績をあげているのと同時に、近海での石油・天然ガス開発が活発になつたことが大きい。

カボットは、ノバ・スコシア沿海について、「魚類で埋め尽されているが、それは網でとるような程度ではなく、バケツですくいあげができるほど豊富である」と、航海記に書いているが、漁業がいまでも州経済の屋台骨であることに変わりない。カナダは世界最大の水産物輸出国で、八三年には十六億ドル相当を輸



五稜郭からハリファックス港を臨む。